

～台風・豪雨に備えよう～



普段から備えておくこと

ハザードマップは、お住まいの市区町村役場の窓口で入手することができます。HPでも見られます。

台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう

平時に確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。



避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？

必ず取組みましょう

ハザードマップ*で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

*ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として*、自宅の外に避難が必要です。

例外

*浸水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒壊又は崩壊してしまうおそれの高い区域の外側である
②浸水する深さよりも高いところにいる
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は自宅に留まり安全確保することも可能です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル3が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

いいえ

警戒レベル3が出たら、市区町村が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル4が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

いいえ

警戒レベル4が出たら、市区町村が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう

組合員さんが体験した声

2019年の台風では、市内に警報が発令され、水害が発生しましたがわが家の場合、ハザードマップを確認したところ、土砂災害の警戒区域ではないので避難しませんでした。今後も、浸水被害はないと考えて警戒レベル4の場合でも在宅避難と考えています。

ただ、この30年間で2度、家の前の道が川になり、駐車場が20cmほど水につかりました。車は無事でしたが年々風雨が激しくなっています。今まで大丈夫だったからと安心せず、備えだけはしておこうと思っています。

接近する前にしておくこと

- ★ハザードマップで避難場所やルートを確認
- ★気象情報の確認
- ★家の周りの整理・整頓
- ★非常用品の用意

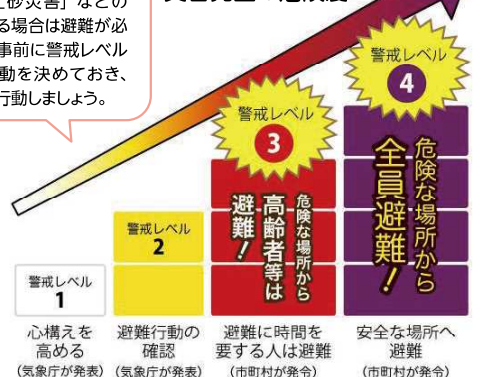
接近してきたら

- ★家の周りの整理はあきらめる
- ★河川や水が出やすい所に近づかない
- ★避難するときはスニーカーで行動する(長靴はNG)
- ★危険になる前に避難する



「洪水や津波などの水害(浸水)」、「土砂災害」などの恐れがある場合は避難が必要です。事前に警戒レベルによる行動を決めておき、速やかに行動しましょう。

災害発生の危険度



【警戒レベル5】(市町村が発令)は既に災害が発生・切迫している状況です。

出典：政府広報オンライン

出典：政府広報オンライン

災害から命を守るためには、私たち一人ひとりが災害に対する備えをしておくことが大事です。自らの命を守るために、台風や豪雨の気象情報に注意して早めに防災対策・避難行動をしましょう。

参考資料：気象庁ホームページ・千葉県防災対策まめ知識 じぶん防災・政府広報オンライン